

榛原地域小学校の統合に関するアンケート(意見一覧)

《統合に「否定的な意向」の方の意見と懸念》

1. 通学手段・交通安全・スクールバスに関する懸念(関連意見:約 38 件)

- **スクールバス運用の不透明さと安全管理:** バス路線・乗降場所(集積所)・時刻・費用の具体策が示されておらず見通しが立たない。車内取り残し事故や事故リスク、教員の同乗有無や乗車マナーを懸念。
- **通学路の危険性・交通量の増大:** 徒歩通学時の事故リスクや、送迎車両の集中による混雑・危険性。国道 165 号など交通量の多い道路の横断に対する不安。
- **徒歩通学の喪失・体力低下:** 徒歩通学の機会が失われることによる運動不足・体力低下や、登下校時の地域コミュニティとの接点減少を危惧。

2. 教育環境・指導体制(少人数教育の評価と大人数化への不安)(関連意見:約 35 件)

- **少人数教育(小規模校)の維持要請:** 一人ひとりに目が行き届き、発言機会が多く自己肯定感が育ちやすい現行の少人数環境を評価し、残してほしいという意見。
- **大人数化による指導・目の届きにくさの懸念:** 1 学級あたりの児童数増加により、教員の目が届かなくなり、個別の学習支援や心のケア・見落としが増えることへの不安。
- **教員の負担増:** 教員不足が叫ばれる中で急な統合は、教員の負担を過度に増やし、学級崩壊や指導不全につながるリスクがあるとの指摘。

3. 児童の心理的影響・環境変化・不登校対応(関連意見:約 28 件)

- **急激な環境変化によるストレス:** 校舎・通学方法の変更や大人数への適応が児童の心の負担となり、不安や不登校・行き渋りにつながる懸念。特に感覚過敏や配慮が必要な児童への影響を危惧。
- **人間関係の複雑化・トラブル増加:** 規模拡大に伴う人間関係の希薄化、いじめや児童間トラブルの増加に対する不安。
- **児童本人の意思尊重:** 「現在の学校・友達・徒歩通学を気に入っており環境を変えたくない」という子ども自身の意見を尊重すべきとする声。

4. 再編計画・統合時期・対象校の見直し提案（関連意見：約 26 件）

- **統合時期の拙速さ（榛原東小学校等の維持）：**榛原東小学校などは現時点で相応の児童数があり、今すぐ統合を進める必然性がない（時期尚早論）。将来の児童数減少に合わせて検討すべき。
- **代替案・段階的統合の提案：**
 - ・ 全校一括統合ではなく「榛原小と榛原西小の 2 校を先行統合し、東小は保留・経過観察」とする案。
 - ・ 3 校を一括統合せず「自由選択制」を設ける案。
 - ・ 既存校舎の使い回しではなく、アクセスしやすい場所に「新校舎を建設して統合」する案。

5. 学校施設・立地環境・災害および緊急時対応（関連意見：約 22 件）

- **駐車場不足と行事時・緊急時のお迎え渋滞：**榛原小学校周辺の道路網が狭く、参観日・運動会などの行事や、大雨・警報発令時の保護者送迎時に周辺道路が渋滞・立ち往生する懸念。
- **避難所・地域防災拠点の喪失：**榛原東小学校などが地域住民の重要指定避難場所となっており、廃校後の防災機能低下や施設維持への不安。

6. 地域社会への影響・過疎化・まちづくり（関連意見：約 15 件）

- **地域の衰退と過疎化の加速：**地域から学校が失われることで若年層・子育て世代の流入が止まり、過疎化・空き家化・地域コミュニティの衰退に拍車がかかる懸念。
- **少人数教育を活かした移住定住政策：**単なる統廃合ではなく、少人数教育の手厚さを魅力として PR し、子育て世帯を誘致する政策を優先すべきという主張。

7. 行政・教育委員会の推進プロセス・説明不足（関連意見：約 14 件）

- **合意形成・説明の不十分さ：**「榛原小学校への統合前提」で議論が進められていることや、具体的な安全策が示されないまま決定されようとしていることに対する不信心。
- **全体コスト・デメリットの開示不足：**校舎統合による削減効果だけでなく、スクールバス維持費、校舎改修費、学童移動費、避難所維持費などの総合的なコストやデメリットの説明不足指摘。

8. 保護者の負担・経済的負担(制服・学童・送迎)(関連意見:約 18 件)

- **経済的負担(制服・学用品の買い替え)**: 学校統合に伴う制服・運動着・用品等の変更・新調に対し、全額補助等の公的配慮がない場合の家計負担。
- **学童保育・送迎の負担増**: 通学距離の延長や送迎の必要性に伴い、共働き・単身世帯におけるお迎えや習い事送迎の負担が増大することへの懸念。

9. その他の意見(母校への思い・中学校段階での統合提案)(関連意見:約 28 件)

- **母校・地域の思い出への考慮**: 長年親しまれてきた母校が失われることに対する感情的な抵抗感・寂しさ。
- **中学校進学時の合流で十分**: 小学校間は身近な地域で伸び伸びと育て、学校規模の拡大や他校との合流は「中学校進学タイミング」で進めればよいという見解。

《統合に「肯定的な意向」の方の統合を支持する理由》

1. 集団教育の充実・多様な人間関係の形成（関連意見：約 52 件）

- **多様な友人関係と社会性の向上：**クラス替えができない小規模校では人間関係が固定化しがちであるため、十分な児童数を確保して多様な友達と関わり、コミュニケーション能力や社会性（非認知能力）を育てほしい。
- **同性児童の確保と「逃げ場」の形成：**1 学級内の同性児童が極端に少ないと良好な人間関係づくりに支障が出るため、ある程度の人数が必要。トラブルが生じた際にもクラス替え等による「心の逃げ場」を確保してあげたい。
- **集団活動・学校行事の活性化：**運動会や各種イベント、部活動・クラブ活動等において、一定の規模がないと活気のある学校生活が送れない。

2. 既存の幼児教育（こども園）等とのつながり・一貫性（関連意見：約 32 件）

- **こども園統合との一貫性・友だちとの再離散防止：**すでに「榛原こども園」等に統合され園児が集約されているのに、小学校進学時に再び分断され、中学校で再合流する流れは不合理であり子どもにとってもかわいそうである。
- **低年齢のうちの環境適応：**思春期に入る中学校進学時よりも、順応性の高い小学生（特に低学年）のうちに統合し、新たな集団環境に馴染ませる方が望ましい。

3. 小規模校の児童数急減への対応（関連意見：約 30 件）

- **西小学校の小規模化への懸念：**榛原西小学校などの入学者数・在籍児童数が一桁（あるいは数名）に落ち込んでおり、集団教育の維持が極めて困難になっている。
- **早期実施による不利益の解消：**児童数が極端に減ってから対応するのではなく、集団生活の質の担保を最優先してできるだけ早く対応すべきである。

4. 統合場所として「榛原小学校」を推す理由（関連意見：約 45 件）

- **地理的中心と交通アクセス・利便性：**榛原地域のほぼ中央に位置し、駅・市役所・図書館・病院・商店街等に近く、児童の安全や地域学習（社会見学等）に優れている。
- **最多児童数校としての合理性：**現時点で最も児童数が多いため、他校へ移動する児童数を最小限に抑えられ、徒歩通学できる児童の割合を一番高く保てる（スクールバスの負担・コスト削減）。

- **施設設備の充実・防犯防災面：**体育館が最も新しく、周辺に警察署や駅・人目が多く不審者対策や防災拠点としても適している。

5. 統合時期に関する意見（関連意見：約 38 件）

- **「早期・最短実施」を望む声：**すでに児童減少が顕著であり、先延ばしにするほど子どもや保護者、教員の負担・不安が増すため、準備ができ次第速やかに実施してほしい。
- **「令和 11～13 年等、児童数 300～400 人規模」を望む声：**3 校合算で全校児童数が 300～400 人程度（全学年 2 クラス規模）に落ち着く時期（令和 11～13 年頃）に合わせて統合すれば、校舎の増改築を行わずにスムーズに収容できる。
- **「準備期間の確保・慎重な検討」を望む声：**急いで統合して体制（通学安全や施設整備、PTA）が不十分になるのを防ぐため、十分な計画・準備期間を設けるべきである。

6. 行政財政の効率化と教育資源の集中（関連意見：約 15 件）

- **財政負担の削減と教育投資への集中：**人口減少下で複数校を維持する経費を削減し、浮いた財源を体育館の冷暖房設置や ICT・教材、教員配置などの教育環境充実へ還元すべきである。
- **教員の負担軽減と教育体制の強化：**統合により学校事務や教員の負担を分散・軽減し、より指導に専念できる環境を作してほしい。

7. 統合場所に関する多様な意見・代替案（他校推し・新校舎案等）（関連意見：約 12 件）

- **他校（榛原東小等）や施設面の優先：**東小は運動場が広い。榛原小周辺は道路が狭くバスの停車・送迎渋滞が懸念されるため、敷地や送迎の安全性を最優先すべき。
- **新校舎建設の検討要請：**既存校舎の使い回しではなく、今後の宇陀市の未来を見据えた新校舎の建設や、耐震性・安全性が最も高い校舎の選定を求める意見。
- **部分統合（榛原小+西小の 2 校統合）の提案：**東小の抵抗が強いのであれば、児童数が極端に少ない西小と榛原小の 2 校を先に統合する手もあるのではないか。

8. 通学安全・学童保育・生活環境の担保が「賛成の条件」（関連意見：約 15 件）

- **通学・バス安全管理の徹底：**バス通学になる児童の安全確保（乗降場所・運行時刻）や送迎用駐車場の確保が大前提である。
- **学童保育（放課後児童クラブ）の継続・拡充：**統合によって学童の帰宅が遅くなったり送迎負担が増えることを懸念し、既存校での学童継続や受け入れ枠の確保を求める声。

《統合に「肯定的な意向」の方の懸念等》

1. 教員配置・指導体制・学習サポートに関する懸念・要望（関連意見：約 22 件）

- **1 クラス人数の増加・指導の目が届くかへの不安：**統合により1クラスの人数（30～35人超）が増えることで、担任1人では目が届きにくくなり、指導やケアの質が低下することを懸念する声が多い。
- **副担任・加配教員・サポート員の増員要請：**1学級20人前後の編制や、担任以外にサポート教員・補助員の配置、支援学級への適切な人員配置を強く要望。
- **教員の指導力・質と負担軽減：**大人数をまとめるための教員の過度な負担やストレス（怒鳴る指導等への不安）を懸念し、教員研修や指導体制の強化を求める声。

2. 子どものメンタルケア・人間関係・環境適応（関連意見：約 18 件）

- **環境変化に伴う不安・ストレスと不登校への懸念：**学校やクラスが変わることで馴染めない児童や不登校が増加する可能性があり、相談窓口の開設や心理的サポート体制を整えてほしい。
- **「旧校舎児童」への配慮・対等な関係づくり：**校舎を移動する側（東小・西小等）の児童が「よそ者」や「吸収合併された側」と感じて肩身の狭い思いをしないよう、事前交流イベントの実施や教職員による細やかな意識指導を求める声。
- **クラス編制・旧担任の配置への配慮：**児童の性格や特性（発達特性等）に応じた配慮あるクラス分けや、環境変化のハードルを下げるために統合前の担任・知っている先生の継続配置を望む意見。

3. 通学安全・バス運行・事故防止（関連意見：約 14 件）

- **スクールバスの安全管理（置き去り防止）：**バス通学の児童が増えるため、車両への取り残し・置き去り事故や登下校中の交通事故が起きないように安全確認を徹底してほしい。
- **通学距離の伸長・徒歩通学の安全確保：**自宅からの距離が長くなる児童の安全（街頭見守りボランティアの増員や防犯カメラの設置等）を求める声。
- **送迎時の混雑・駐車場の確保：**保護者の車送迎時の乗降場所や、運動会・参観日等の行事における十分な駐車場の確保を強く要請。

4. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実・継続（関連意見：約 8 件）

- **受け入れ人数の拡大・利用条件の確保：**統合によって児童数が集中し、共働き家庭が増える中で「学童に入所できなくなる」ことがないよう、施設の増築や受け入れ枠の拡大を求める声。
- **放課後の居場所：**学童保育の実施場所や土曜日利用など、就労保護者が安心して預けられる環境の維持・改善。

5. 行政の進め方・情報発信等への要望（関連意見：約 16 件）

- **決定の遅れや延期に対する不満：**決定が先延ばしになり、振り回されていることへの強い不満。「速やかにやるかやらないかはっきり決断してほしい」との声。
- **一部の反対意見や反対運動への不満：**特定の議員や地域の反対運動、チラシ等に振り回されず、子どもの未来を最優先に考えて市として一貫した方針を貫いてほしいという意見。
- **丁寧な説明と情報公開：**統合の具体的スケジュールや通学方法、財務効果（浮いた財源の使い道など）について、保護者や地域へ分かりやすく説明してほしい。

6. 施設設備・環境整備（関連意見：約 7 件）

- **老朽化対策と衛生面の改善：**使用する校舎のトイレ洋式化、空調（エアコン）整備、安全面の点検・補修を求める声。
- **廃校後の跡地活用：**統合後に使用しなくなる校舎やグラウンドが放置されて劣化・不法侵入等の問題が起きないように、地域活性化のための有効活用を望む意見。

7. 保護者負担（PTA・学童・費用等）の軽減（関連意見：約 6 件）

- **PTA 活動の見直しの必要性：**統合を機に、保護者の負担が大きい PTA 活動や市関連の役員負担を大幅に簡素化・スリム化してほしい。
- **制服・学用品買い替えの負担増への配慮：**統合に伴う制服・体操服・持ち物等の買い替えコストを抑えるため、お譲り会の開催や配慮措置を望む声。

8. 特例措置・経過措置の提案（関連意見：約 3 件）

- **就学学校の選択制：**同性の同級生が数名しかいないなどの小規模状態が続く期間においては、隣接校を選択できる柔軟な特例措置を求める声。